

## 小規模企業景気動向調査 [2023年6月期調査]

～経済活動の正常化で改善が進むも、借入金返済や供給力に問題を抱える小規模企業景況～

### <産業全体>

6月期の産業全体の業況は、売上DIがわずかに悪化、採算・業況DIはわずかに改善し、資金繰りDIが小幅に悪化した。経済活動の正常化を背景に、5期連続で売上DIがプラスで推移し、価格転嫁に向けた取り組みが進み、採算性も改善してきている。一方、コロナ融資の返済開始が、資金繰りの悪化に影響を及ぼしている。また、人手不足から、需要拡大に対し、供給が追いついていない状況にある。

DI	5月	6月	前月比
売上額	109	108	▲0.1
採算	▲31.6	▲29.9	1.7
資金繰り	▲21.2	▲23.2	▲2.0
業況	▲14.4	▲13.2	1.2

### <製造業> コスト高が続くも、受注の増加から、設備投資の動きが見られ始めた製造業

製造業は、採算DIがわずかに改善、売上額DI・業況DIがわずかに悪化、資金繰りDIがわずかに悪化した。食料品関連は、採算DIが5期連続で改善し、コスト高に対し、価格転嫁が進んでいる。一方、資金繰りが大幅に悪化し、収支バランスの悪化が見られる。繊維関連は、全DIが改善、一部で受注拡大のための設備投資の動きが見られる。機械・金属関連は、採算DIが悪化、引き続きコスト高の影響を受けている。全業種に共通し、受注の増加から、設備投資の動きがみられる、とのコメントが増えた。

DI	5月	6月	前月比
売上額	121	112	▲0.9
採算	▲34.1	▲32.6	1.5
資金繰り	▲23.7	▲25.0	▲1.3
業況	▲14.9	▲15.5	▲0.6

### <建設業> 受注増で好調であるも、コロナ融資の返済開始が本格化し、資金繰りが厳しい建設業

建設業は、売上額・採算・景況DIが小幅に改善、資金繰りが大幅に悪化した。原材料価格の高騰が続いているが、一般住宅やリフォーム工事を中心に受注が増加しており、業況の改善が続く。一方、他業種と異なり、入金までの期間が長いことから、本格化するコロナ融資の返済が資金繰りを圧迫している。また、一部で設備投資による生産性向上の動きが見られるも、慢性的な人手不足から供給が追いついていない。

DI	5月	6月	前月比
売上額	6.4	10.9	4.5
採算	▲38.1	▲35.1	3.0
資金繰り	▲26.1	▲31.2	▲5.1
業況	▲22.8	▲18.0	4.8

### <小売業> 概ね改善傾向を維持するも、業種により影響の異なる小売業

小売業は、売上額DIがわずかに悪化し、採算DIが小幅に改善、資金繰り・業況DIがわずかに改善した。衣料品関連は、先月に続き全DIが改善、外出機会の増加が需要の増加につながった。食料品関連は、売上DIが大幅に悪化、物価高による消費者の節約志向により、購買頻度が減少している。耐久消費財関連は、売上DIが大幅改善し、電気代の高騰から、省エネを意識したエアコン関連の需要が伸びている。

DI	5月	6月	前月比
売上額	4.2	3.4	▲0.8
採算	▲37.0	▲34.5	2.5
資金繰り	▲26.6	▲25.0	1.6
業況	▲22.5	▲20.6	1.9

### <サービス業> 好調を維持するも、人手不足や借入金返済に苦しむサービス業

サービス業は、売上額・資金繰りDIが小幅に悪化し、採算・業況DIはわずかに悪化した。旅館関連は、売上額・資金繰りDIが大幅に悪化、売上は5月のゴールデンウィークの需要増から比較すると悪化したものの、依然として全業種の中で最も高い水準を維持している。一方、人手不足の問題から回転率が鈍いことや、借入金返済負担が重くなっている。クリーニング関連は、一般客の利用や、イベント再開による需要増により、全DIが改善した。理・美容関連は安定してきている一方で、借入金返済の本格化により、資金繰りDIが大幅に悪化した。

DI	5月	6月	前月比
売上額	20.9	17.6	▲3.3
採算	▲17.2	▲17.4	▲0.2
資金繰り	▲8.1	▲11.5	▲3.4
業況	2.7	1.1	▲1.6

#### 調査概要

・調査対象: 全国約300商工会の経営指導員

・調査時点: 2023年6月末

・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。